

ヤエヤマウスムラサキクチバを兵庫県市川町で採集

高橋輝男

ヤエヤマウスムラサキクチバ *Ericeia inangulata* はヤガ科 (Noctuidae) シタバガ亜科 (Catocalinae) 属のガで、その分布はインドから東南アジア一帯に分布し、日本では八重山諸島の石垣島、西表島に産するとされている南方系のガである。筆者はその南方系のヤエヤマウスムラサキクチバを兵庫県市川町で採集したので報告する。

約2年前の2016年10月20日に、同町にある播但連絡道路市川パーキングにガの写真撮影に出かけたところ、午後9時過ぎに一頭の名前の分からないガを捕獲した(図1)。クチバガの一種と思われたが、展翅してから同定しようと思ひ展翅したまま部屋の隅に置いておいた。最近になり、展翅したガの整理をしていたところ名前のついていないガがあることに気が付いた。

そのガを取り出して表側と裏側を撮影したものが写真2および3である。開帳は43mmであった。

これらの写真をDMJやインターネット上の写真と比較し同定作業を行ったところ、このガはヤエヤマウスムラサキクチバであるとの結論に達した。

先に述べたように本種の分布は日本では八重山諸島の石垣島、西表島となっているが、四国でも記録がある(webサイト:四国産蛾類図鑑)。図1でも分かるように全く損傷のない綺麗な個体であり、当県では遇産蛾で初記録と思われる。

○参考文献

- Digital Moths of Japan, 78.9 Catocalinae, Cat.4302. ([http://www.jpmoth.org/~dmoth/80\\_Noctuidae/09Catocalinae/4302\\_Ericeia\\_inangulata/Ericeia%20inangulata.htm](http://www.jpmoth.org/~dmoth/80_Noctuidae/09Catocalinae/4302_Ericeia_inangulata/Ericeia%20inangulata.htm))
- みんなで作る日本産蛾類図鑑. ヤエヤマウスムラサキクチバ ([http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Catocalinae/Ericeia\\_inangulata.html](http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Catocalinae/Ericeia_inangulata.html))
- 四国産蛾類図鑑 (<http://homepage64.private.coocan.jp/z41shikokugaruizukan.html>) (Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



図1 ヤエヤマウスムラサキクチバの生態写真 著者撮影。



図2 展翅標本(背面) 著者撮影。



図3 展翅標本(腹面) 著者撮影

ナマリキリガを兵庫県市川町で採集

坪田 瑛

ナマリキリガ *Orthosia satoi* はヤガ科 (Noctuidae) ヨトウガ亜科 (Hadeninae) のガである。このガは講談社大図鑑によると日本特産で山梨、東京、群馬、長野、新潟、岩手、秋田、青森などの都県から産地が知られており、4月に出現するがその個体数は少ないと記載されている。上記以外では石川、愛知、岐阜の各県でも確認されている。本種は出現時期が短くて出会うのに難しい春キリガのうちの一種である。そのナマリキリガを兵庫県市川町で採集したので報告する。

2018年5月2日に兵庫県市川町にある播但連絡道路市川サービスエリアを訪れガの写真撮影と採集を行っていたところ、初見のガがいることに気が付いた(図1)。写真撮影後補虫瓶に収め、自宅に持ち帰り展翅した(図2, 3)。開帳は43mmであった。著者が防虫対策を怠ったために虫食いの被害に会ってしまっているが、内・外横線は亜中脈袋上で黒色条で連結され、その周辺は後縁に至るまで黒色に染められていることが認められ、ナマリキリガであることが判明した。

ナマリキリガは一般に本州中部から東北地方にかけて分布しており、兵庫県では偶産蛾に近いものであると思われる。